

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 2)
実施報告書

平成 18 年 12 月

福岡空港調査連絡調整会議

はじめに

福岡空港については、国、福岡県、福岡市が連携・協力して平成15年度から将来の混雑問題等への対応策を検討する「総合的な調査」を実施しております。

この調査にあたっては、基本的なところから段階を踏んで検討を進めることとしており、検討のステップに対応して情報提供とそれに対する意見収集を行うパブリック・インボルブメント（以下「P I」と略す）を実施することとしております。

昨年度は、福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）を実施し、「福岡空港の現状と課題」や「空港能力の見極め」についての情報を提供し、多くの方からご意見をいただきました。

今回実施いたしました福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）では、平成18年7月10日から「地域の将来像と福岡空港の役割」や「将来の航空需要の予測」についての情報を提供するとともに、新たな取り組みとしてP I（ステップ1）でみなさんからいただいたご意見などを踏まえ、地域情報誌での広報、県外（佐賀県）でのオープンハウスの開催、大学等でのパネル展示などを従来の取り組みに加えて実施し、1,300人を超える方から約3,900件のご意見が寄せられました。

その後、福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）実施計画に基づき、寄せられたご意見を集約し、ご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方とあわせてとりまとめ、平成18年10月31日に公表し、平成18年11月1日から11月14日までの間、『「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対するご意見募集』を実施し、20人の方からご意見が寄せられました。

本報告書は、福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）活動の実施結果をとりまとめたものです。今後、本報告書を福岡空港調査P I有識者委員会に提出し、その内容について評価していただく予定にしております。

目次

1. P I（ステップ2）の活動内容.....	1
(1) 周知広報活動.....	1
(2) P Iレポートに関する情報提供及び意見収集.....	2
2. 寄せられたご意見.....	4
(1) ご意見を寄せられた方の人数及び件数.....	4
(2) ご意見を寄せられた方の属性等.....	4
(3) ご意見に対する考え方.....	10
(4) 『「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見と それに対する考え方」に対するご意見募集』により寄せられたご意見.....	22
3. P I（ステップ2）活動の分析.....	23
(1) P I活動が実施計画の基本方針に則った適切なものであったか.....	23
(2) 当初の目標が達成されたか.....	30
(3) まとめ.....	32

1. P I（ステップ2）の活動内容

（1）周知広報活動

- P I（ステップ2）実施計画に基づき、P I活動の開始前及び開催期間を通じて、下表のとおり、新聞、雑誌、ラジオ、チラシ、ポスター、行政だより、国際交流機関広報誌、ホームページなどでの周知広報を実施しました。
- 新聞広告、雑誌広告、ラジオ広告などメディアを活用した広報では、大手や地域のメディアを網羅的に活用し、新聞については5紙に広告を掲載、雑誌広告については地域情報誌2誌に広告を掲載、ラジオについては約1ヶ月にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。また、外国の方々に対する広報として、福岡県、福岡市の国際交流機関広報誌へのP I活動に関する告知の掲載（英語、中国語、韓国語）、約2週間にわたるラジオ放送（英語、中国語、韓国語、フランス語）などを行いました。
- チラシについては、福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等計20ヶ所の街頭及び県内市町村、中学校・高等学校・大学等へ約60,000部を配布しました。
- 行政だよりについては、福岡県だより、ふくおか市政だよりの2種類の広報誌を活用し、福岡県だよりについては福岡県内全域、ふくおか市政だよりについては福岡市内全域を対象に全戸配布を実施しました。また、福岡市内を対象にしたケーブルテレビ放送を活用し、周知広報を実施しました。

表 1 周知広報活動

手 法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
新聞広告	5回	5紙（読売、朝日、毎日、西日本、日経）、半5段広告（6/27～7/7）各紙1回	—
雑誌広告	2回	2誌 あんふあん1/3広告（7/7発行） アバンティ福岡1/2広告（7/20発行）	あんふあん：4.7万部 アバンティ福岡：14.5万部
ラジオ広告	40回	2局（FM福岡、RKB）20秒広告（7/6～8/3）（平日20日間） 1本/日×20日間×2局	—
ラジオ放送	8回	1局（LOVE-FM）2～3分（7/3～7/6、7/10～7/13）1本/日（英語、中国語、韓国語、フランス語）	—
チラシ配布	—	・20ヶ所（福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等）での街頭配布（6/27～7/1、7/7） ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	60,000部
ポスター配布	—	・県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
行政だより配布等	—	・福岡県だより1回（7/1発行） ・ふくおか市政だより1回（6/15発行） ・J:COM福岡、FCV 10分広報番組（8/11～8/17）3回/日×7日間×2局	福岡県だより：約200万部 市政だより：約70万部 J:COM、FCV：52万世帯
国際交流機関広報誌	—	・こくさいひろば（（財）福岡県国際交流センター）1回（7月発行） ・レインボー（（財）福岡国際交流協会）1回（7月発行）	こくさいひろば：英語4,500部、中国語2,000部、韓国語2,000部 レインボー：英語5,000部、中国語1,500部、韓国語1,500部

(2) P I レポートに関する情報提供及び意見収集

- P I (ステップ2)実施計画に基づき、平成18年7月10日より、福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ2)に関する情報提供及び意見収集を、下表のとおり実施しました。
- 福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等計20ヶ所において、約20,000部のP I レポート(ステップ2)を街頭配布しました。また、県内市町村、中学校・高等学校・大学等への配布や、福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局の4ヶ所にインフォメーションコーナーを設置し、定常的な情報提供を実施し、合計約60,000部を配布しました。さらに、ステップ2での新たな取り組みとして、P I レポート英語版の作成、大学や福岡市区役所でのパネル展示などを実施しました。
- また、説明会、懇談会、オープンハウスなどを開催するとともに、要望により、個別説明会も実施しました。さらに、ステップ2での新たな取り組みとして、シンポジウムや、グループヒアリングを実施しました。

表 2 P I レポートに関する情報提供及び意見収集

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
P I レポート	—	・20ヶ所(福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等)での街頭配布(7/10～7/16)	60,000部
		・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布 ・インフォメーションコーナー等情報提供窓口への設置 ・ホームページ掲載(7/10～) ※P I レポート英語版も掲載	—
シンポジウム	1回	○エルガーラホール(7/31)	370人
インフォメーションコーナー	4ヶ所	○福岡空港(7/10～11/14) ○福岡県庁(7/10～11/14) ○福岡市役所(7/10～11/14) ○九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所(8/1～11/14)	6,935人 (福岡空港7/10～11/14)
ホームページ	—	・P I (ステップ2)の周知広報開始(6/27～11/14)	10,279アクセス (6/27～11/14)
説明会	5回	○北九州国際会議場(7/25)	43人
		○アクロス福岡(7/26)	42人
		○のがみプレジデントホテル(8/1)	57人
		○くるみホール(8/9)	54人
		○まどかピア(8/10)	47人

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者または 資料配布数
懇談会	12回	○空港関連事業者 第1回(7/21 福岡空港ビル) 9団体13人参加 第2回(7/21 福岡空港ビル) 8団体10人参加 第3回(7/24 福岡市役所) 10団体10人参加 第4回(8/2 福岡市役所) 9団体11人参加 第5回(8/3 福岡市役所) 7団体8人参加 第6回(8/3 福岡市役所) 12団体14人参加 ○空港周辺住民等 第1回(7/18 福岡空港事務所) 19人参加 第2回(7/19 地元集会所) 22人参加 第3回(8/2 地元集会所) 25人参加 第4回(8/8 地元集会所) 14人参加 ○周辺自治体(8/2 福岡市役所) 12自治体1団体14人参加 ○市民団体(7/24 福岡市役所) 11団体15人参加	175人
オープンハウス	7ヶ所(2日/ヶ所)	○三越ライオン広場 (7/20~7/21、福岡市中央区)	来場者 384人 配布数 360部
		○イオンショッピングタウン大和 (7/22~7/23、佐賀県佐賀市大和町)	来場者 251人 配布数 556部
		○リバーウォーク北九州 (7/24~7/25、北九州市小倉北区)	来場者 185人 配布数 805部
		○イオンショッピングタウン穂波 (7/29~7/30、飯塚市枝国)	来場者 159人 配布数 1,120部
		○THE MALL 春日 (7/29~7/30、春日市春日)	来場者 395人 配布数 1,285部
		○ゆめタウン久留米 (8/10~8/11、久留米市新合川)	来場者 325人 配布数 1,315部
		○福岡東サティ (9/16~9/17、糟屋郡志免町)	来場者 226人 配布数 992部
福岡空港見学会	4回	第1回(8/5) 33人参加、第2回(8/6) 31人参加、第3回(8/26) 27人参加、第4回(8/27) 31人参加	122人
パネル展示	9ヶ所	○福岡大学(7/10~14) 配布数45部 ○北九州市立大学(7/10~21) 配布数37部 ○九州産業大学(7/18~25) 配布数48部 ○福岡市東区役所(9/4~8) ○福岡市城南区役所(9/4~8) ○福岡市博多区役所(9/11~15) ○福岡市早良区役所(9/11~15) ○福岡市西区役所(9/19~22) ○福岡市南区役所(9/25~29)	配布数 231部 101部
グループヒアリング	4回	○中央市民センター(7/14) 2回 ○あいれふ講堂(7/15) 2回	48人
その他説明会	11回	○学校等(7/12、9/12) 2回	170人
		○その他(8/18、21、22、23、9/2、9/7、9/9、9/14、9/22) 9回	343人

2. 寄せられたご意見

- ホームページやP I レポートの街頭配布、インフォメーションコーナー、福岡空港見学会、説明会、懇談会、オープンハウスなどの活動を通じて配布した意見記入はがき等により、9月末までに1,344人の方からご意見が寄せられました。
- 寄せられたご意見の概要とそれに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方については、『福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方』としてとりまとめ、10月31日に公表しました。
- なお、以下のとりまとめにあたっては、10月以降に寄せられた意見（8人、33件）を加え、とりまとめております。

(1) ご意見を寄せられた方の人数及び件数：1,352人（3,921件）

(2) ご意見を寄せられた方の属性等

●住所

- ・ 福岡県にお住まいの方が1,085人と最も多く、ついで、東京都や神奈川県など福岡空港の旅客の多い地域やオープンハウスが開催された佐賀県にお住まいの方が多くなっています。

表 3 住所

都道府県	回答数(人)
山形県	3
茨城県	3
栃木県	1
埼玉県	18
千葉県	16
東京都	53
神奈川県	25
富山県	1
山梨県	1
静岡県	1
愛知県	7
大阪府	9
兵庫県	6
奈良県	3
鳥取県	1
島根県	2
山口県	17
福岡県	1,085
佐賀県	34
長崎県	8
熊本県	10
大分県	11
宮崎県	3
鹿児島県	6
沖縄県	5
無回答	23
計	1,352

●性別

- ・ 男性から約7割、女性から約2割のご意見が寄せられております。

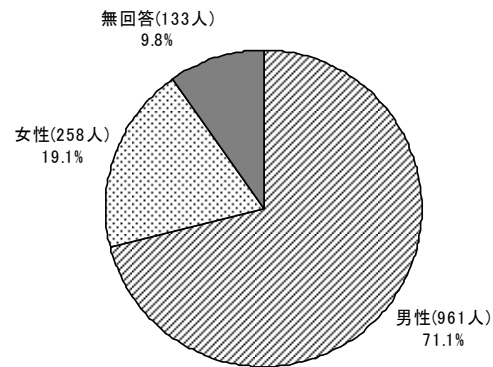


図 1 性別 n=1352

●年齢

- ・ 50代の割合が最も高く(26.4%)、40代から約2割、30代、60代から約1.5割のご意見が寄せられております。また、20代、70代以上からも一定の割合でご意見が寄せられております。

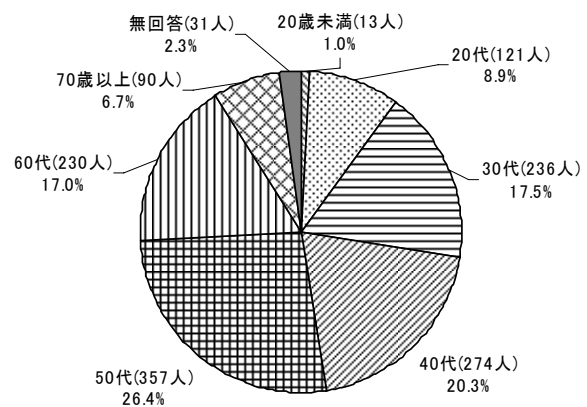


図 2 年齢 n=1352

●職業

- ・ 会社員、会社役員及び公務員といった比較的空港をよく利用する方を中心に主婦の方含め、幅広くご意見が寄せられています。

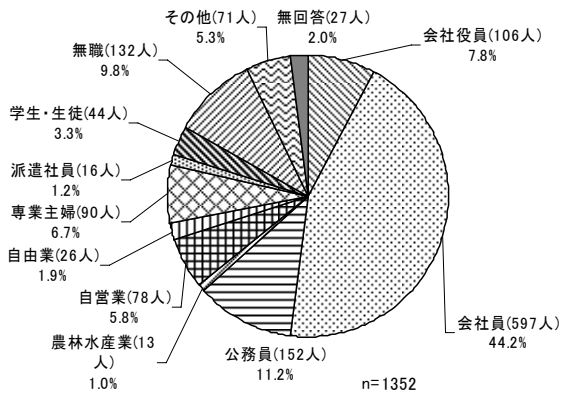


図 3 職業

●福岡空港からの航空機利用状況

- ・ 数年に1～2回から年に15回未満(3～7往復程度)の方からのご意見が全体の約8割を占めています。また、利用されない方や年に30回以上利用される方からもご意見が寄せられています。

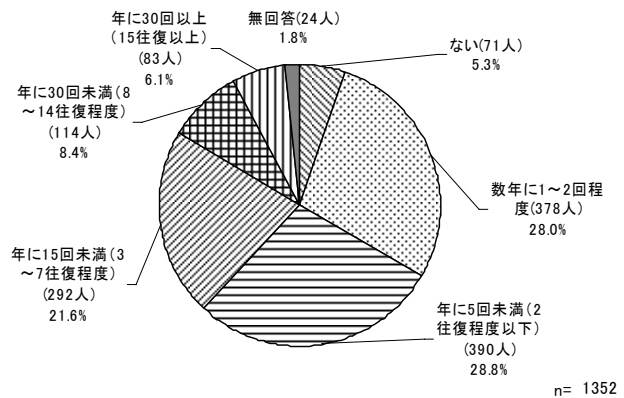


図 4 福岡空港からの航空機利用状況

(3) 意見記入はがき等各問の回答状況

問1. 今回のPI(ステップ2)が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

- ・ 伝聞なども含め多様なメディアを介してPIについて周知されています。

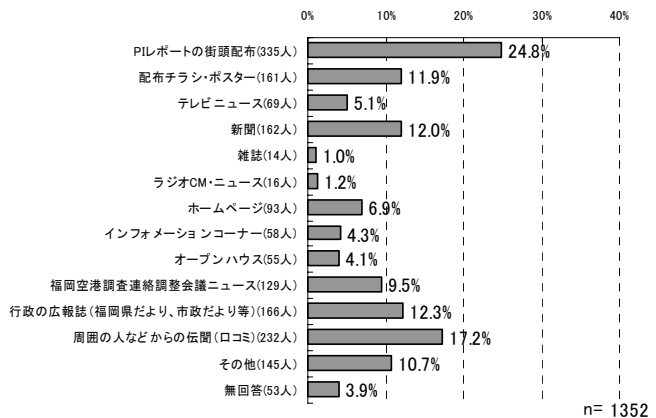


図 5 今回のPI(ステップ2)が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

問2. PIレポートの文章や図表など表現のわかりやすさやイベントの印象についてお尋ねします。

①どのPIレポートをお読みになりましたか。

- ・ PIレポートを読まれている方が約9割となっております。

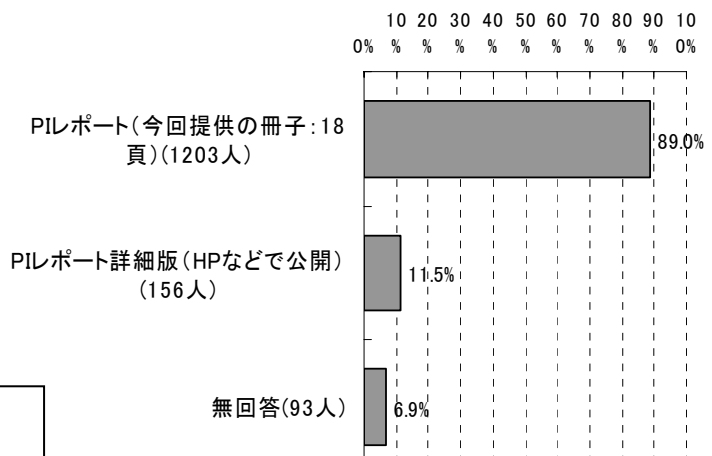


図 6 どのPIレポートをお読みになりましたか。

②PIレポートはわかりやすかったですか。

- 「わかりやすかった」「普通」と答えた方が全体の約7割を占めております。

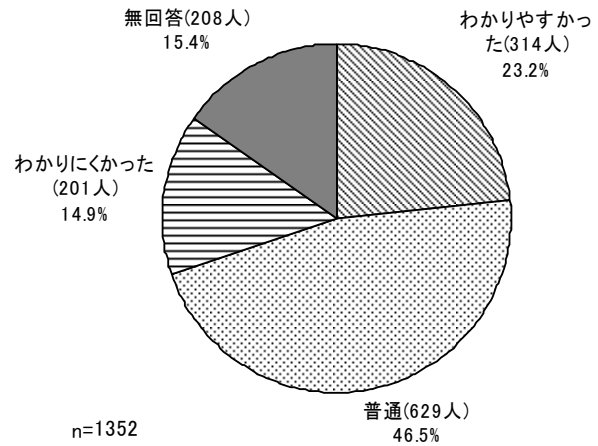


図 7 PIレポートはわかりやすかったですか。

③参加した催しは何ですか。

- 意見をお寄せいただいた方の約4割の方が参加されていない一方、約4割の方が、何らかの催しに参加しております。

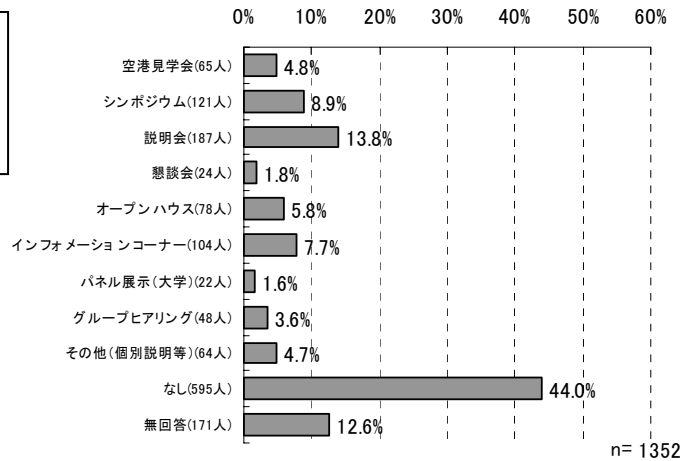


図 8 参加した催しは何ですか。

④参加した催しの印象はいかがでしたか。

(催しに参加した経験がある方(586人)のみ回答)

- 「満足」「ほぼ満足」とされた方が全体の3割、普通まで加えると6割を超えております。

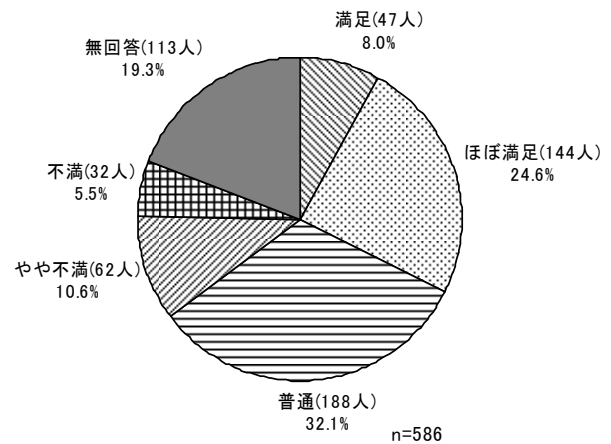


図 9 参加した催しの印象はいかがでしたか。

問3. ご提供したPIレポートについて必要な情報は提供されていましたか。

①地域の将来像と福岡空港の役割について

・ 「十分提供されている」「概ね提供されている」とされた方が6割を超えております。

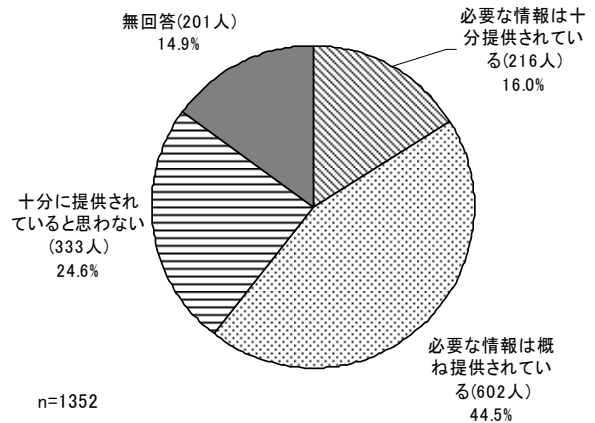


図 10 地域の将来像と福岡空港の役割について、必要な情報は提供されていましたか？

②将来の航空需要の予測について

・ 「十分提供されている」「概ね提供されている」とされた方が5割を超えております。

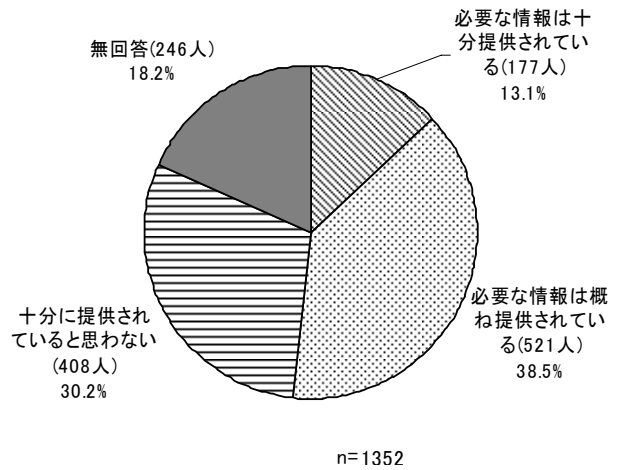


図 11 将来の航空需要の予測について、必要な情報は提供されていましたか？

問4. 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか？

・ 「とても興味深かった」「興味深かった」とされた方が全体の6割を超えております。

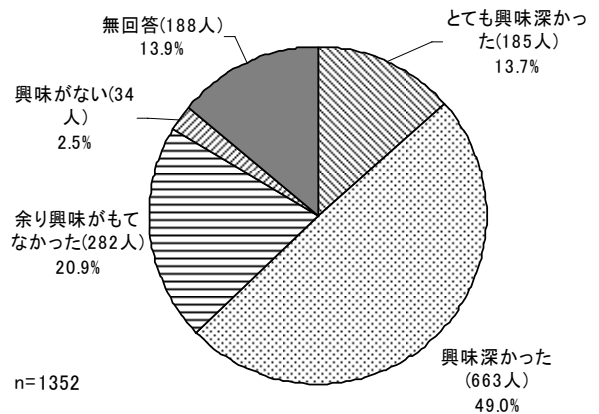


図 12 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか？

○記述意見等について

意見記入はがき等の「①地域の将来像と福岡空港の役割について」、「②将来の航空需要の予測について」及びその他のご意見や感想（意見募集はがき等の「③その他」、自由な様式で寄せられたご意見、説明会等での発言により寄せられたご意見など）については、合計で 3,921 件のご意見が寄せられました。それらの意見については、内容ごとに区分・整理した結果、7項目（「その他」を除く）となりました。

具体的には、今回のステップ2に係る項目は次のとおりです。

- ・「地域の将来像に関する意見」
- ・「福岡空港の役割に関する意見」
- ・「将来の航空需要予測に関する意見」
- ・「P Iに関する意見」

また、ステップ3以降に係る項目は次のとおりです。

- ・「有効活用方策など現空港に関する意見」
- ・「近隣空港との連携方策に関する意見」
- ・「現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見」

上記項目と「その他」に分類されます。

今回のステップ2に係わる項目のうち、「地域の将来像に関する意見」が 439 件、「福岡空港の役割に関する意見」が 967 件、「将来の航空需要予測に関する意見」が 1,080 件でした。また、「P Iに関する意見」が 285 件、ステップ3以降に関する意見が 949 件、その他が 201 件でした。

(3) ご意見に対する考え方

分類したご意見の概要及びご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方は次のとおりです（詳細は表4参照）。

①ステップ2

○地域の将来像に関する意見

(意見の概要)

これからの福岡・九州にとってアジアを中心とした海外とのつながりが重要であるとの意見、地方分権時代には福岡が九州のリーダーとなり役割が増す等の意見が多く寄せられました。一方、九州における福岡の一極集中を懸念する意見、国・地方の財政状況を懸念する意見、提示した将来像は地域の独自性が不足している等の意見も寄せられ、7つの将来像それぞれに対し、数多くの意見が寄せられました。

(意見に対する考え方)

地域の将来像については、「地域の現状と課題」と「既存の将来ビジョン」から整理した論点について、具体的な取り組みを示しながら今後地域が目指すべき将来像を提示しP Iの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。地域の将来像については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。なお、地域の将来像の各論点における主な意見に対する考え方については表4において説明しております。また、今後ともグローバル化、少子高齢化等、福岡・九州を取り巻く社会経済環境の変化にも十分注意を払っていく必要があると考えています。

○福岡空港の役割に関する意見

(意見の概要)

福岡空港は、九州の玄関口としてアジアを中心とした海外及び国内との交流を支えることが重要な役割であり、今後その役割の重要性は増すとの意見が多く出されました。また、福岡空港の持つアクセス利便性に関する意見、安全確保や環境影響の軽減に取り組む必要があるとする意見等、4つの役割について数多くの意見をいただきました。

(意見に対する考え方)

「福岡空港の現状と課題」をもとに、福岡空港に何が求められるかを整理したうえで、「地域の将来像」の実現に向けて必要な「福岡空港の役割」を提示しP Iの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。福岡空港の役割については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。今後は、航空ネットワークの拡充や、空港容量の確保、利用者の利便性の向上、幅広い航空利用と安全・環境等への配慮といった必要となる取り組みを進めていくことが重要であると考えています。

○将来の航空需要予測に関する意見

(意見の概要)

国内総生産（GDP）や都市部の人口増加、アジアの経済発展等による交流の増加などから航空旅客が伸びるとする意見などが寄せられた一方で、人口減少の進展や少子高齢化の影響、他の交通機関との競合などから航空旅客はあまり伸展が期待できないとする意見なども寄せられました。また、GDPや人口・機材構成、交通アクセスなど需要予測の前提条件に関する意見や、今回の需要予測の精度等の意見も多く寄せられました。さらに、新北九州空港や佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見も寄せられるなど、数多くの意見が寄せられました。

(意見に対する考え方)

将来の航空需要の予測については、予測の前提となる条件設定の根拠、予測手法や予測モデルの計算式等を示しながら、予測結果を提示しPIの取り組みを進めてきました。その結果、「将来の航空需要の予測」について数多くの意見をお寄せいただき、市民等の方々への十分な情報提供が行われたとともに、需要予測の前提条件や予測手法等についても、概ねの理解が得られたものと考えています。一方では予測の結果や精度の妥当性を問う意見もあり、このような意見も含めた主な意見に対する考え方については表4に示しています。今後とも需要予測で前提としたことや実際の航空需要の動向については注目していく必要があると考えています。

○OPIに関する意見

(意見の概要)

PIの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見、取り組みやPIレポートが偏っているのではないかとの意見、PIレポートがわかりにくいなどの意見がありました。

(意見に対する考え方)

PIについては、透明性、公正さを基本に実施しています。今回のPIでは、前回のステップ1でみなさんからいただいた意見等を踏まえ、広報の強化、県外（佐賀県）におけるオープンハウスの開催、英語版PIレポートの作成など、その内容を充実させたところです。今後ともステップに応じて、PIを実施していくこととなりますが、その際には、みなさんからの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えております。

また、PIレポートについては、わかりやすく作成することとしておりますが、内容が広範かつ専門分野にわたることから、PIレポートとりまとめにかかるデータや、参考事例などをとりまとめた詳細版を併せて作成し、みなさんに公開していくこととしております。今後ともわかりやすい内容になるよう工夫していくとともに、みなさんから一層の信頼が得られるよう努力して参ります。

②ステップ3以降に関する意見

○有効活用方策など現空港に関する意見

(意見の概要)

現在の福岡空港の立地的優位性を評価し、現空港の有効活用を含めた現空港に関する意見がありました。

(意見に対する考え方)

現空港の有効活用方策については、その実現性・効果等について今後検討して参ります。

○近隣空港との連携方策に関する意見

(意見の概要)

新北九州空港や佐賀空港との連携の必要性や具体的な連携方策に関する意見がありました。

(意見に対する考え方)

ステップ3以降で行われる「近隣空港との連携方策の検討」の中で、その効果等について検討して参ります。

○現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見

(意見の概要)

将来の航空需要の増大を前提として、現空港での滑走路増設や新空港の建設を求める意見がありました。一方、抜本方策の必要性を疑問視する意見もありました。

(意見に対する考え方)

ステップ3以降で行われる「現空港における滑走路増設の検討」や「新空港の検討」の中で、その効果等について検討して参ります。

表 4 寄せられたご意見に対する考え方

ステップ の区分	分類	件数	意見 概要	意見に対する考え方
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	439 件	これからの福岡・九州にとってアジアを中心とした海外とのつながりが重要であるとの意見、地方分権時代には福岡が九州のリーダーとなり役割が増す等の意見が多く寄せられました。一方、九州における福岡の一極集中を懸念する意見、国・地方の財政状況を懸念する意見、提示した将来像は地域の独自性が不足している等の意見も寄せられ、7つの将来像それぞれに対し、数多くの意見が寄せられました。	地域の将来像については、「地域の現状と課題」と「既存の将来ビジョン」から整理した論点について、具体的な取り組みを示しながら今後地域が目指すべき将来像を提示しPIの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。地域の将来像については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。なお、地域の将来像の各論点における主な意見に対する考え方については下記において説明しております。また、今後ともグローバル化、少子高齢化等、福岡・九州を取り巻く社会経済環境の変化にも十分注意を払っていく必要があると考えています。
			(意見の構成)	
			1.グローバル化	1.今後のアジア地域においては高い経済成長・国際観光客の伸びが予想されており、東アジアに対し地理的近接性を持つ福岡・九州にとって、アジア地域との関係が今まで以上に重要となると考えています。福岡はその拠点性を活かして九州の玄関口となり、増大する国際交流・国際物流を受け入れていくことが重要であると考えています。
			2.少子高齢化	2.現在、国・地域において、子育て・医療等の労働生活環境面における抜本的な少子化対策が進められています。また、多彩な人材による生産性の維持向上や九州のもつ温かいホスピタリティを活かした交流人口の拡大等に取り組んでいます。そのため、今後の少子高齢化社会においても、国内外の交流拡大によって福岡・九州が活力を保っていくことが重要であると考えています。
			3.地方分権	3.地方分権の進展により地域の自立が求められる中、福岡の持つ高次都市機能の活用によって九州全体の魅力を高めるなど、福岡が九州のけん引役になることが重要と考えています。また、九州のそれぞれの地域が、独自の魅力や競争力を養っていくことが重要であると考えています。
			4.価値観の多様化	4.人々の価値観がモノの豊かさから心の豊かさを重視する傾向に変化しており、福岡・九州は、豊かな自然・歴史・文化等の財産や国内外及び域内を結ぶ利便性の高い移動手段の活用により、バランスのとれた質の高い暮らしの実現を図っていくことが重要であると考えています。また、福岡・九州の持つ東アジアとの長い交流の歴史等を活かし、国内外を問わず人々の交流を拡大していくことが重要であると考えています。
			5.IT化(高度情報化)	5.世界規模でのIT化が進む中、IT関連産業を活かした地域振興を図っていくことが重要であると考えています。また、近年、インターネットや電子メール等の急激な普及拡大の中でも、航空旅客は増加傾向にあります。その理由としては、IT化により企業の生産性の向上や個人旅行の拡大等が進んでいることが考えられます。
			6.社会資本形成	6.厳しい財政状況の中でも地域が持続的に発展していくためには、効率的な行政システムへの移行による財政の健全化はもちろん、公共投資の「選択と集中」の考えのもと、民間活力の導入等も図りながら、福岡・九州は、福岡の拠点性を活かした戦略的な社会資本形成を行うことが重要であると考えています。
			7.環境重視	7.地球規模の環境問題や資源制約等、環境重視の傾向が深まっていく中、福岡・九州は、都市の発展と環境への配慮が好循環した都市・地域を目指すことが必要です。また、福岡・九州には、環境に関する優れた技術や取り組み等が蓄積しており、これらを活かして、東アジア地域を中心に国際貢献を行うことも重要であると考えています。
			8.その他	8.福岡・九州が持つ地域性を踏まえた将来像の具体的な検討の過程は、PIレポート詳細版P11～P56に記載しています。
ステップ 2	福岡空港の役割に関する意見	967 件	地域の将来像全般に関する意見や、地域の将来像の検討方法に関して意見がありました。	「福岡空港の現状と課題」をもとに、福岡空港に何が求められるかを整理したうえで、「地域の将来像」の実現に向けて必要な「福岡空港の役割」を提示しPIの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。福岡空港の役割については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。今後は、航空ネットワークの拡充や、空港容量の確保、利用者の利便性の向上、幅広い航空利用と安全・環境等への配慮といった必要となる取り組みを進めていくことが重要であると考えています。
			(意見の構成)	
			1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港	1.成長著しい東アジアの諸都市に対して日帰り交流できるほどの地理的優位性を活かして、福岡・九州は、グローバル化と少子高齢化が進む中でも地域の持続的な発展を目指す必要があると考えています。そのため、福岡空港の国内外航空ネットワークを充実しながら、東アジアと福岡・九州を密接に繋ぐ役割が重要であると考えています。
			2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港	2.将来の航空需要に対応し、新規路線の開設や増便に応えられる空港容量を確保するとともに、旅行目的地、利用する時間など、多様化する利用者ニーズに対応したサービスの向上が重要であると考えています。
			3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港	3.福岡がもつ陸海空が密接に連携した交通拠点機能を活かし、いつでも希望する都市へ速く・安く・快適に移動できる交通体系を確保して様々な利用者の利便性を高めていくことが重要であると考えています。
			4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港	4.安全・環境等への配慮や効率的な整備・運営による財政負担軽減と利便性向上とを両立させることが重要であると考えています。また、防災や救急活動等幅広い航空利用によって地域の自立的発展を支える役割も必要と考えています。
5.その他	5.福岡空港の役割の具体的な検討の過程については、PIレポート詳細版P57～P83に記載しています。			
			福岡空港の役割の重要性は増すとの意見や、福岡空港の役割の検討方法に関して意見がありました。	

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方
	分類	件数	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	1080 件	国内総生産(GDP)や都市部の人口増加、アジアの経済発展等による交流の増加などから航空旅客が伸びるとする意見などが寄せられた一方で、人口減少の進展や少子高齢化の影響、他の交通機関との競合などから航空旅客はあまり伸びが期待できないとする意見なども寄せられました。また、GDPや人口・機材構成、交通アクセスなど需要予測の前提条件に関する意見や、今回の需要予測の精度等の意見も多く寄せられました。さらに、新北九州空港や佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見も寄せられるなど、数多くの意見が寄せられました。
			将来の航空需要の予測については、予測の前提となる条件設定の根拠、予測手法や予測モデルの計算式等を示しながら、予測結果を提示しPIの取り組みを進めてきました。その結果、「将来の航空需要の予測」について数多くの意見をお寄せいただき、市民等の方々への十分な情報提供が行われたとともに、需要予測の前提条件や予測手法等についても、概ねの理解が得られたものと考えています。一方で予測の結果や精度の妥当性を問う意見もあり、このような意見も含めた主な意見に対する考え方については以下に示しています。今後とも需要予測で前提としたことと実際の航空需要の動向については注目していく必要があると考えています。
			(意見の構成)
			1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見
			① 将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見 将来の経済指標の設定について、GDPの伸びは今後あまり期待できないとする意見や、GDPを複数ケース設定して極めて低い伸び率も用いており堅めの予測であるとする意見がありました。また、GDPと全国の旅行回数(生成交通量)との相関関係やGDP以外の経済指標について問う意見がありました。
			① 将来の航空需要の予測は、国内外の交通量推計に幅広く用いられている四段階推計法により実施しています。四段階推計法の第一段階として生成交通量(航空のみならず鉄道や自動車を含む全国の旅客数の合計)を求めるに際し、過去の人口やGDPと生成交通量との関係をもとに、将来の人口とGDPを与えることにより将来の生成交通量の予測値を求めています。過去の生成交通量については、一人あたりGDP及び人口との高い相関が認められ、今回は、この中で重相関係数が最大(0.984)となった1978年から2003年(当時最新値)を回帰期間とした場合のパラメーターを採用したことで、信頼度の高い推計値が得られたものと考えています。また、将来のGDP等の設定については公的機関による将来見通しを参考にしつつ、大小幅のある3ケースを設定したことにより、経済の伸展が小幅な場合の需要予測値も示しています。(参考:PILレポート詳細版P98、P107、P135) 今回の需要予測において生成交通量推計の説明変数としたGDPについては、企業等の活動である業務目的の交通と個人の活動である観光及び私用目的の交通の両方の国全体の交通量との関係を表す指標として適当であると考えています。なお、寄せられた意見をもとに、生産活動から発生した付加価値のうち労働を提供した雇用者への分配額を指す「雇用者報酬」と「生成交通量」との過去の相関関係を確認したところ、重相関係数は最大で0.956となり、GDPとの重相関係数より小さな値でした。
			② 将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見 日本の将来人口予測値の設定や、後期高齢者(75歳以上)の増加が航空機利用に与える影響、福岡～羽田間での航空機材の大型化の可能性などについて問う意見がありました。また、福岡空港の容量制約を前提として予測すべきとする意見もありました。
			② 今後増加が見込まれる後期高齢者が航空機利用に与える影響については、現時点ではこの影響の傾向や程度について将来を見通す客観的なデータが見あたらないため、今回の予測の前提条件とはしていませんが、PILレポート詳細版P110の「少子高齢化が中長距離旅行回数(生成交通量)に与える影響について」に記載しているように、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることが確認できました。この傾向を高齢者が増加する将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することとなりますが、このことについても今回の予測においての適用は控えています。なお、予測の条件として用いた将来人口推計値は、公的機関による最新の予測値の中間推計を用いています。このように、予測の前提として用いる将来見通し等の条件については、客観的なデータを用いるように努めていますが、今後とも設定した前提条件の動向について注目していく必要があると考えています。 将来の発着回数は、将来の路線需要の規模に応じた機材構成(大型・中型・小型ジェット機、プロペラ機)を見込むことで求めています。今回の需要予測においては、現状における路線需要の規模と便数・機材構成の関係が将来も続くものと想定しています。なお、福岡・羽田路線におけるこの10年間の実績では、座席利用率はほぼ一定ですが旅客数の伸び以上に運航回数は増加しており、また、航空会社の保有機材の中・小型化傾向が更に伸展した場合には、今回の予測値以上に潜在的な発着回数が増加することも考えられます。(参考:PILレポート詳細版P124、P157) また、今回は福岡空港の容量制約を前提としない潜在的な将来需要を予測しています。福岡空港の需給逼迫に対し、どのような対応案があるのかを考える上では、発着回数の制約を前提にするのではなく、潜在的な需要を把握することが必要と考えています。
			2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見
			① GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見 少子高齢化が懸念される中でも、福岡都市圏の人口は伸びることや、福岡と結ぶ路線が同様に人口が伸びる都市であること、また、今後の日本の経済成長等から、将来の航空需要は伸びるとする意見がありました。
		① 全国及び市町村別の人口や、GDP等の将来値については、客観的なデータを用いるように努める観点から、公的機関の見通し等を参考に設定し、将来の航空需要を予測しています。これらの動向については、今後とも実際の福岡空港の利用状況とあわせて注目していく必要があると考えています。	
		② アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見 アジア諸国の経済発展に伴い交流人口が増えることや、地理的・経済的に結びつきが強い中国等との間で、今後、ビジネスや観光での国際航空旅客が拡大していくとする意見がありました。	
		② 今回の需要予測では、海外の経済発展については将来GDPの伸びとして反映しています。なお、アジア各国からの訪日については、査証(ビザ)発給の緩和によっても影響されるものと考えられます。(参考:PILレポート詳細版P142) 今後ともアジアの経済発展や査証発給の動向については実際のアジア方面からの福岡空港の利用状況とあわせて注目していく必要があると考えています。	
		③ IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見 IT化の進展によりビジネス活動での出張が減少するあるいは増加するとの意見のほか、地方分権など地域社会の成熟により国内(地域間)での人の移動が減少するとの意見もありました。一方で、今後、経済成長が続いたとしても、日本と外国との交易関係が懸念されるとして、国際航空旅客が伸びないとする意見もありました。	
		③ 将来の航空需要は、今回の需要予測で前提としている人口の変化やGDPの伸びなどのほか、様々な社会経済状況の変化による影響を受けるものであり、今回の需要予測でも過去の社会経済の変化を客観的に分析し将来の予測に反映するよう努めていますが、客観的に把握するデータが不十分で、需要予測モデルに反映することができないものについては、定性的な考察を行っています。IT化の進展で出張が減るといったことも考えられますが、一方で交流の拡大から旅行回数は増えるという見方もあります。(参考:PILレポート詳細版P161～P164) また、社会の成熟化については、航空の先進地域である欧米の事例を見た場合には航空需要は増加傾向にありました。(参考:PILレポート詳細版P122) 今後の経済の動向については、客観的なデータを用いるよう努め、公的機関による将来見通し等を基に設定しています。日本と海外の交易関係については、今回の予測で直接的な反映はしていませんが、今後のビジットジャパンキャンペーンの伸展やアジア各国からの訪日の際の査証(ビザ)発給の緩和など、交流拡大につながる動きが考えられます。(参考:PILレポート詳細版P142)	
		④ 原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見 近年の原油価格の高騰で航空運賃の上昇が航空需要に影響するとの意見がありました。	
		④ 一人当たり生成交通量と一人当たりGDPの間には高い相関があり、この関係を用いて需要予測を行いました。原油価格の高騰については、航空運賃のみならず経済活動全般に対して広範囲に影響を及ぼすものと考えられることから、今回の予測で設定した3ケースのGDP伸び率の中でもより低めの設定値における需要予測結果が参考になるものと考えています。 なお、過去欧米ではオイルショックなど経済に影響を与える出来事が起こった後、一時的に航空旅客数の減少・横ばい傾向が見られましたが、その後は増加に転じています。(参考:PILレポート詳細版P122)	
		⑤ 少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見 少子化により今後、日本の人口が減少していることや、高齢化に伴い航空機利用が減少することなどから、将来の航空需要が伸びないとする意見がありました。	
		⑤ 将来、日本の人口は緩やかに減少していくことが見込まれていますが、福岡市や福岡都市圏の人口は当面増加していくものと考えられており、福岡空港の主要路線の相手先都道府県人口も当面増加が見込まれています。このことは、PILレポート詳細版P97にも内容を記載しております。また、少子高齢化の進展による影響については、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることから、この傾向を将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することも考えられますが、今回の予測ではこのような傾向を反映していません。(参考:PILレポート詳細版P110)	

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方
	分類	件数	
ステップ 2			⑥規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとの意見 航空自由化により、新規航空会社が参入することで航空需要が増大するとの意見や、航空運賃の割引などにより更なる航空需要の増加を指摘する意見などがありました。 また、将来、航空機の小型化が進み運航頻度が増大するとの意見がある一方で、多頻度運航による現空港の空港能力不足や便数の制限を懸念する意見もありました。
			⑦最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見 近年の福岡空港の旅客数が横ばい傾向にあることや、一部の国際航空路線の運休・休止などの影響から、将来の航空旅客が伸びないとする意見がありました。
			⑧他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見 九州新幹線の全線開通や高速道路等の整備に伴う移動手段の多様化と利便性の向上から他の交通機関へ航空旅客が移るとの意見や、現空港の容量限界により他の空港へ航空旅客が移るとの意見がありました。
			⑨その他需要予測に関する意見
		3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見 近隣空港までの交通インフラ整備が十分でないことから、アクセス利便性の向上は期待されず緩和効果がないとする意見がありました。一方で北九州空港や佐賀空港の容量限界を検討すべきとの意見や、その利活用について可能性の検討が十分でないとする意見がありました。	3. 今回の需要予測では、新北九州空港と佐賀空港のアクセス利便性を飛躍的に向上させた場合の福岡空港の需給逼迫緩和効果を試算したところ、福岡空港の年間発着回数が0.2～0.7万回程度減少する結果となりました。この結果の評価については、「近隣空港との連携方策の検討」の中で、検討して参ります。また、今回の需要予測では、福岡空港の需給逼迫に対して、近隣空港の利活用を含めてどのような対応案があるのかを考える上でまずは潜在的な需要を把握することが必要と考えています。このため、福岡空港のみならず近隣空港についても発着回数の制約を前提にするのではなく、容量制約を与えずに潜在的な需要を算出しています。
		4. 需要予測の精度等に関する意見	
		①需要予測の精度に関する意見 過去の需要予測結果の中には、実際と大きく乖離したケースがあったことから、現在の需要予測の精度自体の信頼性を疑問視する意見がありました。	①今回の需要予測は、より精度の高い需要予測を行うことを目的としてとりまとめられた「国内航空需要予測の一層の精度向上について」(国土交通省)に基づき適切に実施しているものと考えております。 なお、需要予測は将来の社会経済について前提条件を与えて計算するものであるため前提が変わると計算結果も変わります。国内外の交通量推計に幅広く用いられている四段階推計法により実施しています。将来のGDP等の設定については公的機関による将来見通しを参考にしつつ、大幅のある3ケースを設定したことにより、経済の伸展が小幅な場合の需要予測値も示しています。(参考:PIレポート詳細版P92、P98)
		②需要予測として提供される情報に関する意見 福岡空港の需要予測としては、計算過程も含め丁寧な説明がなされており、また、予測に幅を持たせてあるなど慎重で堅実な予測がなされていることなどから、提供される情報が妥当とする意見がありました。一方で、提供される情報が専門的で分かりづらいとする意見や、予測結果を再現する際の具体的な数字(モデル式・パラメーター)の資料について説明不足とする意見もありました。	②需要予測の内容については、PIとして十分な情報提供を図る観点から、その概要をまとめたPIレポートと前提条件や計算の過程などより詳しい内容についても解説等を加えながら掲載したPIレポート詳細版により提供しています。このことから、PIにおける需要予測の情報提供については、概ね適切なものと考えていますが、今後も分かりやすく内容が充実したレポートを作成するよう努めて参ります。
		③その他 CO ₂ 発生量削減など地球環境問題からの分析や、他の交通手段のエネルギー効率に関する比較調査が不十分とする意見がありました。また、他国(ヨーロッパなど)の航空事情や交通事情等の調査が不十分とする意見もありました。	③将来の航空需要は、今回の需要予測で前提としている人口の変化やGDPの伸びなどのほか、様々な社会経済状況の変化による影響を受けるものであり、今回の需要予測でも過去の社会経済の変化を客観的に分析し将来の予測に反映するよう努めていますが、客観的に把握するデータが不十分で、需要予測モデルに反映することができないものについては、定性的な考察を行っています。地球環境問題から1人あたりのCO ₂ 排出量の大きい自動車や航空機への利用規制がされれば、一定距離未達の旅行は鉄道等への移行が考えられます。(参考:PIレポート詳細版P161～P164) また、他国の航空事情等については、航空の先進地である欧米の航空旅客数とGDPの関係についての事例を見た場合では、欧米においても航空旅客数は経済成長とともに増加してきたことを確認しています。(参考:PIレポート詳細版P122)
		PIIに関する意見	285 件
	(意見の構成)		
	1.PIの取り組みに対する意見 PIの取り組みを評価する意見、PRの強化への意見、PIの取り組みについて偏っているのではないかなどの意見がありました。		1. 福岡空港の総合的な調査に係るPIは、透明性、公正さを確保しながら、幅広くみなさんに情報を提供し、それに対するみなさんの意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や報告の内容等をホームページで公開するなどしています。PIへの取り組みの評価や取り組みに関する広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、みなさんの期待に応えるとともに一層の信頼を得られるよう、適切な時間管理のもと進めて参ります。
	2.PIの催し等に関する意見 PIの催し充実や実施のあり方などについての意見がありました。		2. PIの催し等については、PIの各ステップの内容に合わせ、多くの方が参加しやすい方法を選定し、各ステップ毎に実施計画として取りまとめ、公表することとしていますが、今後とも実施計画の作成にあたっては、いただいた意見を参考とし、工夫して参りたいと考えております。
	3.PIレポートに対する意見 PIレポートの内容について、興味深いとされる意見がある一方、偏っている、わかりにくいなどの意見がありました。		3. PIレポートについては、わかりやすさを旨としてとりまとめているのですが、内容が広範かつ専門分野にわたることからPIレポートのほか、PIレポートとりまとめにかかるデータや、参考事例などをとりまとめた詳細版を作成し、ホームページや福岡県、福岡市の情報窓口、インフォメーションコーナーに配架するなどして公開しております。今後ともみなさんの信頼を得られるよう、透明性を確保しつつ、また、わかりやすくお伝えできるよう努力して参りたいと考えております。
	4.その他		
ステップ3 以降に関する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	210 件	現在の福岡空港の立地的優位性を評価し、現空港の有効活用を含めた現空港に関する意見がありました。
	近隣空港との連携方策に関する意見	342 件	新北九州空港や佐賀空港との連携の必要性や具体的な連携方策に関する意見がありました。
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見	397 件	将来の航空需要の増大を前提として、現空港での滑走路増設や新空港の建設を求める意見がありました。一方、抜本方策の必要性を疑問視する意見もありました。
	その他	201 件	
	合計	3921 件	

(参考)

①意見記入はがき「①地域の将来像と福岡空港の役割について」欄に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,352	人	寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は、1,352人、うち「必要な情報は提供されている」「必要な情報は概ね提供されている」とされた方が6割強となっています。また、977人の方から記述意見があり、その意見を1,366件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
必要な情報は十分提供されている	216	人	
必要な情報は概ね提供されている	602		
十分に提供されていると思わない	333		
無回答	201		

ステップ の区分	意見		
	分類	件数	概要
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	333 件	<p>(意見の構成)</p> <p>1.グローバル化 107</p> <p>①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 85</p> <p>②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 13</p> <p>③その他 9</p> <p>2.少子高齢化 20</p> <p>①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 7</p> <p>②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 9</p> <p>③その他 4</p> <p>3.地方分権 49</p> <p>①分権型社会への移行に関する意見 15</p> <p>②自立した地域社会の形成に関する意見 20</p> <p>③その他 14</p> <p>4.価値観の多様化 3</p> <p>①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 2</p> <p>②その他 1</p> <p>5.IT化(高度情報化) 5</p> <p>①IT化と航空需要との関連に関する意見 3</p> <p>②その他 2</p> <p>6.社会資本形成 39</p> <p>①財政の健全化に関する意見 7</p> <p>②高次な都市機能に関する意見 5</p> <p>③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 23</p> <p>④その他 4</p> <p>7.環境重視 8</p> <p>①地球環境や資源制約に対する意見 2</p> <p>②循環型社会への対応に関する意見 1</p> <p>③その他 5</p> <p>8.その他 102</p> <p>①地域の将来像全般についての意見 34</p> <p>②地域の将来像の検討方法等に関する意見 54</p> <p>③その他 14</p>
	福岡空港の役割に関する意見	533 件	<p>(意見の構成)</p> <p>1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 220</p> <p>①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 18</p> <p>②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 131</p> <p>③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 69</p> <p>④その他 2</p> <p>2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 60</p> <p>①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 53</p> <p>②その他 7</p> <p>3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 86</p> <p>①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 82</p> <p>②その他 4</p> <p>4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 85</p> <p>①幅広い航空利用に関する意見 5</p> <p>②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 48</p> <p>③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 12</p> <p>④利用者の利便性に関する意見 16</p> <p>⑤その他 4</p> <p>5.その他 82</p> <p>①福岡空港の役割全般についての意見 78</p> <p>②その他 4</p>

ステップ の区分	意見			
	分類	件数	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	47 件	(意見の構成)	
			1.需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	3
			①将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	2
			②将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	1
			2.福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	29
			①GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			②アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	4
			③IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	1
			④原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	0
			⑤少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	2
⑥規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすと の意見	3			
⑦最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	0			
⑧他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3			
⑨その他需要予測に関する意見	13			
3.新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	2			
4.需要予測の精度等に関する意見	13			
①需要予測の精度に関する意見	4			
②需要予測として提供される情報に関する意見	2			
③その他	7			
ステップ3 以降に関 する意見	PILに関する意見	51 件	(意見の構成)	
			1.PILの取り組みに対する意見	8
			2.PILの催し等に関する意見	1
			3.PILレポートに対する意見	39
			4.その他	3
ステップ3 以降に関 する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	102 件		
	近隣空港との連携方策に関する意見	151 件		
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する 意見	110 件		
	その他	39 件		
合計		1366 件		

②意見記入はがき「②将来の航空需要の予測について」欄に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,352 人	寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は、1,352 人、うち「必要な情報は提供されている」「必要な情報は概ね提供されている」とされた方が5割を超えております。また、956 人の方から記述意見があり、その意見を1,340 件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
必要な情報は十分提供されている	177	
必要な情報は概ね提供されている	521	
十分に提供されていると思わない	408	
無回答	246	

ステップ の区分	分類	件数	意見 概要
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	32 件	(意見の構成) 1.グローバル化 10 ①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 9 ②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 1 ③その他 0 2.少子高齢化 4 ①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 2 ②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 2 ③その他 0 3.地方分権 4 ①分権型社会への移行に関する意見 2 ②自立した地域社会の形成に関する意見 2 ③その他 0 4.価値観の多様化 3 ①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 2 ②その他 1 5.IT化(高度情報化) 1 ①IT化と航空需要との関連に関する意見 1 ②その他 0 6.社会資本形成 2 ①財政の健全化に関する意見 1 ②高次な都市機能に関する意見 0 ③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 1 ④その他 0 7.環境重視 2 ①地球環境や資源制約に対する意見 2 ②循環型社会への対応に関する意見 0 ③その他 0 8.その他 6 ①地域の将来像全般についての意見 2 ②地域の将来像の検討方法等に関する意見 0 ③その他 4
	福岡空港の役割に関する意見	131 件	(意見の構成) 1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 33 ①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 4 ②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 23 ③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 5 ④その他 1 2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 45 ①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 33 ②その他 12 3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 13 ①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 10 ②その他 3 4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 30 ①幅広い航空利用に関する意見 0 ②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 19 ③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 2 ④利用者の利便性に関する意見 8 ⑤その他 1 5.その他 10 ①福岡空港の役割全般についての意見 3 ②その他 7

ステップ の区分	意見		
	分類	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	872 件	
		(意見の構成)	
		1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	66
		① 将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	39
		② 将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	27
		2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	557
		① GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	40
		② アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	89
		③ IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	17
		④ 原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	15
		⑤ 少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	83
		⑥ 規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとする意見	41
		⑦ 最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	30
		⑧ 他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	41
		⑨ その他需要予測に関する意見	201
		3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	23
		4. 需要予測の精度等に関する意見	226
① 需要予測の精度に関する意見	54		
② 需要予測として提供される情報に関する意見	91		
③ その他	81		
ステップ3 以降に関する意見	PIIに関する意見	43 件	
		(意見の構成)	
		1. PIIの取り組みに対する意見	4
		2. PIIの催し等に関する意見	2
		3. PIIレポートに対する意見	34
4. その他	3		
ステップ3 以降に関する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	16 件	
	近隣空港との連携方策に関する意見	91 件	
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見	83 件	
合計	その他	72 件	
		1340 件	

③その他のご意見や感想（意見記入はがき等の「③その他」、自由な様式で寄せられたご意見、説明会等での発言により寄せられたご意見）

ステップ の区分	分類	件数	意見	
			概要	
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	74 件		
			(意見の構成) 1.グローバル化 18 ①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 10 ②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 3 ③その他 5 2.少子高齢化 7 ①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 0 ②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 4 ③その他 3 3.地方分権 10 ①分権型社会への移行に関する意見 5 ②自立した地域社会の形成に関する意見 4 ③その他 1 4.価値観の多様化 0 ①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 0 ②その他 0 5.IT化(高度情報化) 1 ①IT化と航空需要との関連に関する意見 0 ②その他 1 6.社会資本形成 14 ①財政の健全化に関する意見 7 ②高次な都市機能に関する意見 2 ③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 3 ④その他 2 7.環境重視 8 ①地球環境や資源制約に対する意見 6 ②循環型社会への対応に関する意見 1 ③その他 1 8.その他 16 ①地域の将来像全般についての意見 8 ②地域の将来像の検討方法等に関する意見 4 ③その他 4	
	福岡空港の役割に関する意見	303 件		
			(意見の構成) 1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 34 ①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 3 ②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 23 ③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 8 ④その他 0 2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 38 ①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 25 ②その他 13 3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 60 ①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 56 ②その他 4 4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 147 ①幅広い航空利用に関する意見 4 ②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 78 ③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 10 ④利用者の利便性に関する意見 49 ⑤その他 6 5.その他 24 ①福岡空港の役割全般についての意見 23 ②その他 1	

ステップ の区分	意見			
	分類	件数	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	161 件	(意見の構成)	
			1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	35
			① 将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	20
			② 将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	15
			2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	54
			① GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	1
			② アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	6
			③ IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			④ 原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	2
			⑤ 少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	15
			⑥ 規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすと の意見	3
			⑦ 最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	3
			⑧ 他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	5
			⑨ その他需要予測に関する意見	16
3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	6			
4. 需要予測の精度等に関する意見	66			
① 需要予測の精度に関する意見	10			
② 需要予測として提供される情報に関する意見	14			
③ その他	42			
ステップ3 以降に関 する意見	PIIに関する意見	191 件	(意見の構成)	
			1. PIIの取り組みに対する意見	74
			2. PIIの催し等に関する意見	34
			3. PIIレポートに対する意見	66
			4. その他	17
ステップ3 以降に関 する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	92 件		
			近隣空港との連携方策に関する意見	100 件
その他	90 件			
合計		1215 件		

(4) 『福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方』に対するご意見募集』により寄せられたご意見

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見を集約し、ご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方をとりまとめ、『福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方』に対するご意見募集』を平成18年11月1日（水）から平成18年11月14日（火）まで実施しました。

ご意見募集では、20人の方からご意見が寄せられました（意見数は26件）。寄せられた意見の概要は、以下のとおりです。

○寄せられた意見の概要

- ・「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」について、まとめ方がわかりやすいとの意見、丁寧に回答しているとの意見が各1件ありました。
- ・P Iについて、レポートの内容は概ね理解されているのではないかとの意見が1件、取り組みを評価する意見が1件、もっとマスコミにPRすべきといった意見が2件、取り組みへの懐疑的な意見が2件ありました。
- ・福岡空港の役割について、地域の将来像実現に向けて福岡空港が大きな役割を担うとの意見、アジアの玄関となる役割を果たすべく整備が必要であるとの意見が各1件ありました。
- ・需要予測について、需要予測について肯定的な意見が1件、予測結果等について疑問視するとの意見が2件ありました。
- ・以上の他、近隣空港との連携方策に関する意見、現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見などがありました。

3. P I（ステップ2）活動の分析

今回のP I活動が、P I（ステップ2）実施計画に定めた目標等に照らして適切なものであったかどうかの分析を行いました。

（1）P I活動が実施計画の基本方針に則った適切なものであったか

P I（ステップ2）実施計画と実施した活動は表5のとおりです。なお、ステップ2においては、新たな取り組みとして、シンポジウム、パネル展示、グループヒアリングを実施しました。

P I活動は実施計画に則って実施され、一部は要望に応じてさらに回数を増やすなどして柔軟に対応しました。また、下記の点から、P I活動は適切なものであったと考えております。

①十分な周知広報の実施

- ・周知広報活動は、計画どおりに実施し、特に、メディアを活用した広報では、大手や地域のメディアを網羅的に活用し、新聞については5紙に広告を掲載、雑誌広告については地域情報誌2誌に広告を掲載、ラジオについては約1ヶ月にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。また、外国の方々に対する広報として、福岡県、福岡市の国際交流機関広報誌へのP I活動に関する告知の掲載（英語、中国語、韓国語）、約2週間にわたるラジオ放送（英語、中国語、韓国語、フランス語）などを行いました。
- ・その結果、10,000人を超える方がシンポジウム、インフォメーションコーナー、説明会、懇談会、オープンハウス、見学会、パネル展示、グループヒアリング等の催しに参加され、また、ホームページにも10,000件を超えるアクセスがあるなど、多くの方々にご参加いただきました。

②多様で適切なP I手法の選定

- ・P I活動は、計画どおり実施し、要望に応じて福岡空港見学会やオープンハウスの追加開催、その他説明会の開催など柔軟に対応しました。
- ・意見記入はがき等での回答結果より、P I活動に参加した人のうち「満足」「ほぼ満足」「普通」と回答した方が約65%でした（図13参照）。
- ・なお、P I（ステップ2）の実施に際しては、ステップ1でみなさんからいただいたご意見などを踏まえ、開催場所や周知方法の充実を図ったところですが、ステップ3以降においてもさらに充実した内容の活動となるよう検討していきたいと考えております。

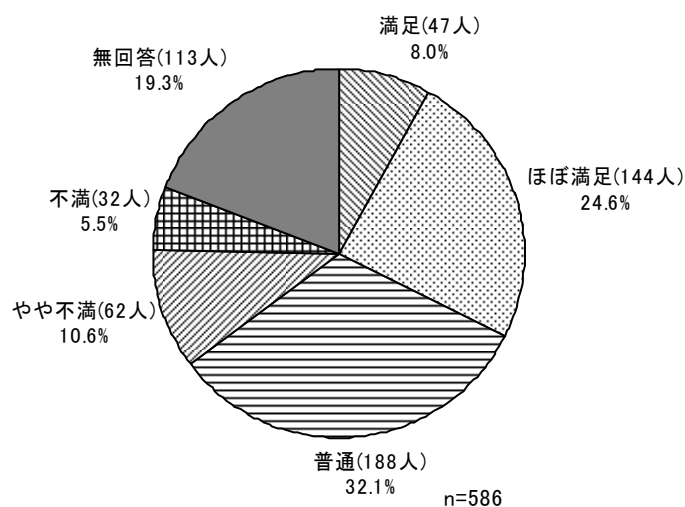


図 13 参加した催しの印象（再掲）

③わかりやすい情報提供の実施

- ・意見記入はがき等での回答結果より、提供された情報は、「わかりやすかった」、「普通」と答えた人が全体の約7割を占め、「わかりにくかった」と回答した人は約15%であったことから、わかりやすい情報提供であったと考えております（図14参照）。
- ・また、PIレポートの内容について、「とても興味深かった」、「興味深かった」と答えた方が全体の6割を超えており、みなさんの関心に応えることができたと考えています（図15参照）。
- ・さらに、「地域の将来像と福岡空港の役割」及び「将来の航空需要の予測」について、「必要な情報は提供されている」と回答した方が、いずれも半数を超えており、適切な情報内容であったと考えております（図16、図17参照）。

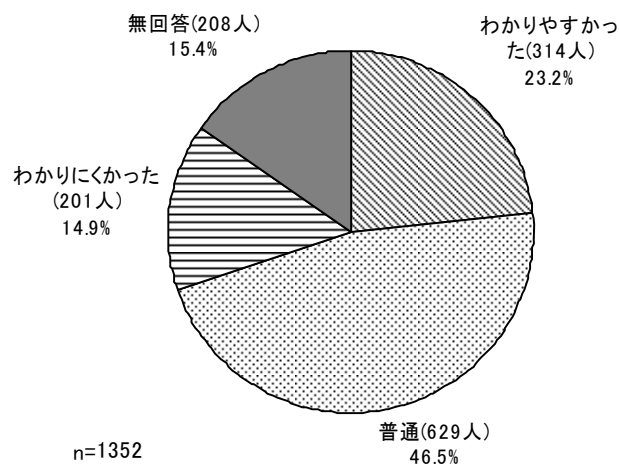


図 14 PIレポートはわかりやすかったか（再掲）

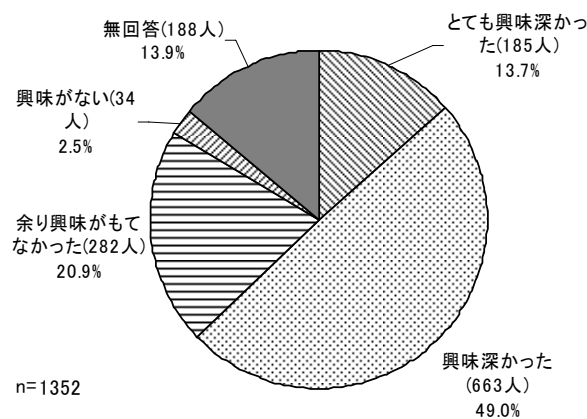


図 15 PIレポートは興味深かったか (再掲)

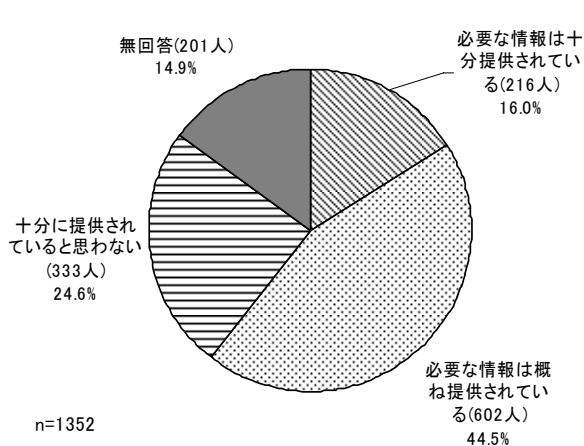


図 16 必要な情報は提供されていたか (地域の将来像と福岡空港の役割について) (再掲)

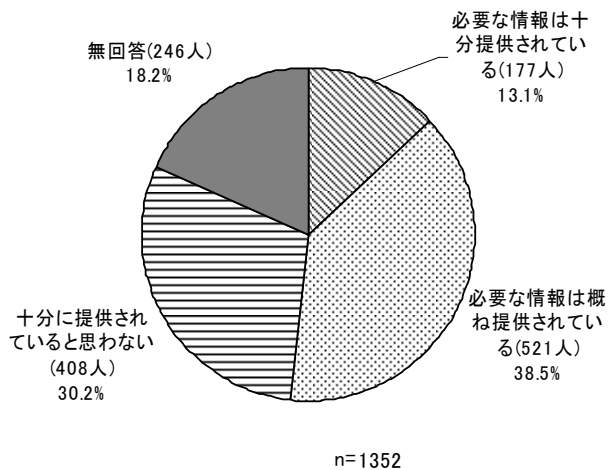


図 17 必要な情報は提供されていたか (将来の航空需要の予測について) (再掲)

④収集した意見とそれに対する考え方を公表

- ・意見記入はがき等により寄せられたご意見や、説明会、懇談会等の活動でご発言いただいたご意見を集約し、ご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議としての考え方をとりまとめ、10月31日に公表し、意見募集を11月1日から11月14日まで実施しました。

⑤中立・公正なPIの実施

- ・PI (ステップ2) 実施計画を策定する際には、PI (ステップ1) の実施結果及びみなさんからお寄せいただいたご意見や、福岡空港調査PI有識者委員会の評価などを踏まえ、中立・公正な実施計画を策定しました。
- ・PI実施段階においては、中立・公正なPIの実施となるよう、その活動の実施状況について、福岡空港調査PI有識者委員会委員に実施状況把握をしていただき、助言をいただきながら進めました。

- ・福岡空港調査PI有識者委員会委員の助言について、PI（ステップ2）の活動の中で対応可能な助言に対しては、ステップ2のPI活動の中で対応を実施しました。

⑥適正な時間管理

- ・PI（ステップ2）の活動は、PI（ステップ2）実施計画において、「一定期間に高い密度の情報提供等を集中して実施することが必要であること等から、PIの実施期間は3ヶ月程度を目安」として実施することとしております。
- ・PI（ステップ2）は、7月10日からPIレポートの配布を開始し、7月中旬から約2ヶ月にわたって催しを集中実施するなど、概ね計画どおりに実施でき、適正に時間管理ができたものと考えております。

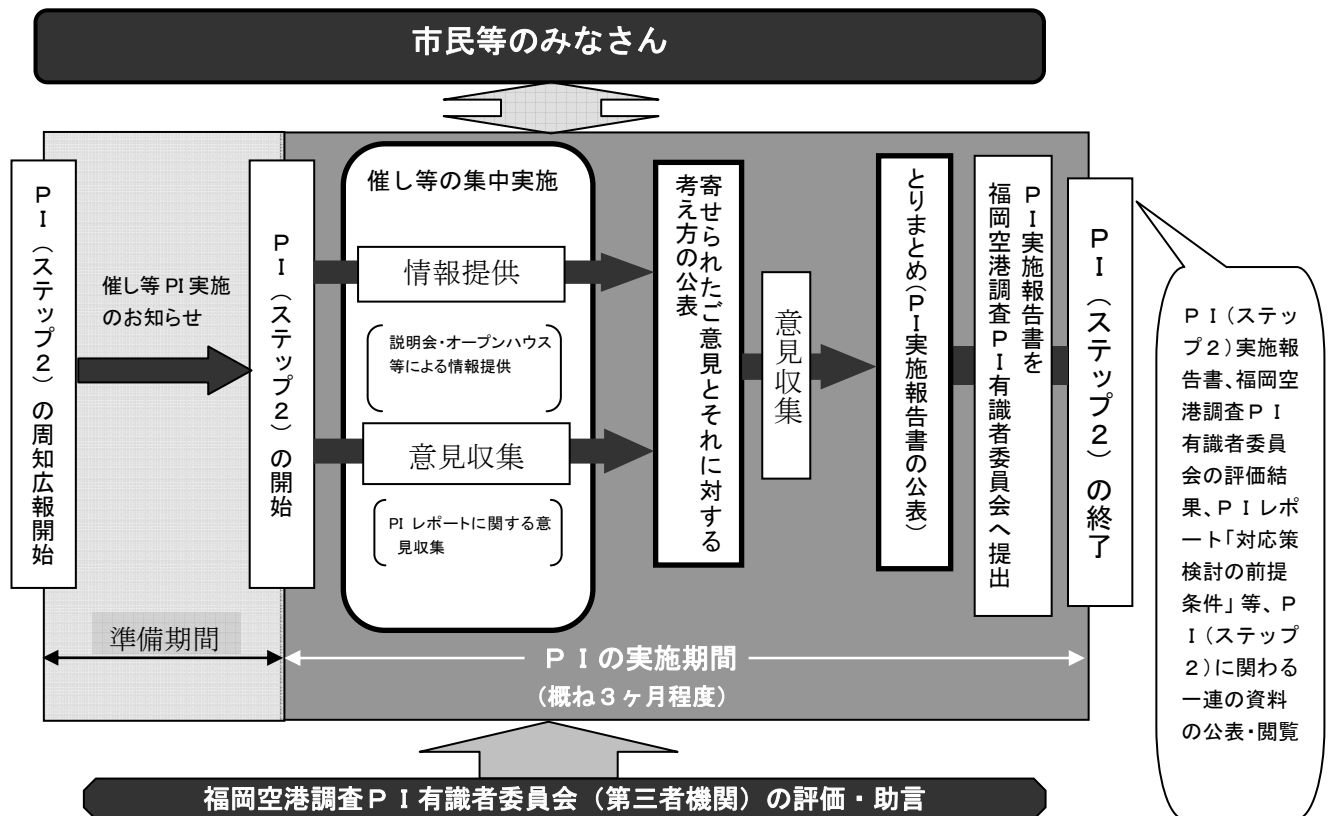


図 18 PIの進め方

表 5 P I (ステップ2) 実施計画と実施内容の比較

P I (ステップ2) 実施計画										実施内容		
手法	P I 参加者									回数・箇所・機関等	内容	実施計画との比較
	●福岡県民 ●福岡市民 ●福岡空港の周辺地域住民及び関連自治体	●空港利用者	●県内地方自治体	●空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元経済団体	●福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体							
周知・広報	関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報 ・ホームページへの掲載 ・報道機関への情報提供										新聞広告 5回 5紙(読売、朝日、毎日、西日本、日経)、半5段広告(6/27~7/7) 各紙1回	計画どおりに実施した。
											雑誌広告 2回 2誌 あんふあん 1/3広告(7/7発行) 7パティ福岡 1/2広告(7/20発行)	
											ラジオ広告 40回 2局(FM福岡、RKB) 20秒広告(7/6~8/3) (平日20日間) 1本/日×20日間×2局	
											ラジオ放送 8回 1局(LOVE-FM) 2~3分(7/3~7/6、7/10~7/13) 1本/日(英語、中国語、韓国語、フランス語)	
											チラシ配布 ・20ヶ所(福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等)での街頭配布(6/27~7/1、7/7) ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	
											ポスター配布 県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	
											行政だより配布等 ・福岡県だより 1回(7/1発行) ・ふくおか市政だより 1回(6/15発行) ・J:COM福岡、FCV 10分広報番組(8/11~8/17) 3回/日×7日間×2局	
											国際交流機関広報誌 ・こくさいひろば((財)福岡県国際交流センター) 1回(7月発行) ・レインボー((財)福岡国際交流協会) 1回(7月発行)	
P I レポートに関する情報提供・意見収集	P I レポートの配布	P I レポートを配布する。	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置 ・シンポジウムや説明会やオープンハウス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載 ・県外での配布も検討	○	○	○	○	○	○	60,000部	・20ヶ所(福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等)での街頭配布(7/10~7/16) ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布 ・インフォメーションコーナー等への設置 ・シンポジウム、説明会、見学会、オープンハウス、懇談会等参加者への配布 ・ホームページに掲載(7/10~9/30) ※P I レポート英語版も掲載	計画どおりに実施した。
	P I レポート詳細版の配布	P I レポート詳細版を配布する。	・インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置 ・シンポジウムや説明会やオープンハウス、懇談会参加者への配布 ・ホームページに掲載	○	○	○	○	○	○	3,000部	・インフォメーションコーナー等への設置 ・シンポジウム、説明会、見学会、オープンハウス、懇談会等参加者への配布 ・ホームページに掲載(7/10~9/30)	計画どおりに実施した。
	シンポジウム	P I レポートの内容に関連した、学識者・有識者等によるパネルディスカッションを開催し、意見収集を行う。	・福岡市内で開催	○	○	○	○	○	○	1回(370人)	エルガーラホール(7/31)	計画どおりに実施した。

P I (ステップ2) 実施計画							実施内容			
手法	P I 参加者						回数・箇所・機関等	内容	実施計画との比較	
	●福岡県民 ●福岡市民 ●福岡空港の周辺地域住民及び関連自治体	●空港利用者	●県内地方自治体	●空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元経済団体	●福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体					
P I レポートに関する情報提供・意見収集	インフォメーションコーナー	福岡空港のP Iに関する総合的な情報提供を行い、意見収集を行う。	・福岡県庁、福岡市役所、福岡空港内に設置	○	○	—	—	○	4ヶ所 ○福岡空港 (7/10~11/14) ○福岡県庁 (7/10~11/14) ○福岡市役所 (7/10~11/14) ○九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所 (8/1~11/14)	計画どおりに実施した。 (九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所での設置を追加)
	HPへの情報掲載	福岡空港調査連絡調整会議のホームページに情報を掲載し、意見収集を行う。	—	○	○	○	○	○	10, 2797ヶ所 6/27 (P I (ステップ2) の周知広報開始) ~11/14	計画どおりに実施した。
	説明会	P I レポートの内容についての説明会を開催し、意見収集を行う。	福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地域にて開催	○	○	—	—	○	5回 (243人) ○北九州国際会議場 (7/25) ○アクロス福岡 (7/26) ○のがみプレジデントホテル (8/1) ○くるみホール (8/9) ○まどかビア (8/10)	計画どおりに実施した。
	懇談会	P I レポートの内容について懇談し意見収集を行う。	空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元経済団体、福岡空港に関心を有する個人及び団体との懇談会を開催	○	—	—	○	○	12回 (175人) ○空港関連事業者 第1回 (7/21 空港ビル) 第2回 (7/21 空港ビル) 第3回 (7/24 市役所) 第4回 (8/2 市役所) 第5回 (8/3 市役所) 第6回 (8/3 市役所) ○空港周辺住民等 第1回 (7/18 福岡空港事務所) 第2回 (7/19 地元集会所) 第3回 (8/2 地元集会所) 第4回 (8/8 地元集会所) ○周辺自治体 (8/2 福岡市役所) ○市民団体 (7/24 福岡市役所)	計画どおりに実施した。
	オープンハウス	P I レポートの内容についての展示や説明を行い、意見収集を行う。	・福岡市、福岡地域、北九州地域、筑後地域、筑豊地域にて開催 ・他県での開催も検討	○	○	—	—	○	7ヶ所 (2日/ヶ所) (1, 925人) ○三越ライオン広場 (7/20~7/21) ○イオンビッグ 大和 (7/22~7/23) ○リバーウォーク北九州 (7/24~7/25) ○イオンビッグ 筑後 (7/29~7/30) ○THE MALL 春日 (7/29~7/30) ○ゆめタウン久留米 (8/10~8/11) ○福岡東サティ (9/16~9/17)	計画どおりに実施した。 (福岡地区での開催を1回追加)
	福岡空港見学会	空港の現状や利用状況等について現場の見学会を開催し、意見収集を行う。	・福岡空港にて開催を検討	○	—	—	—	—	4回 (122人) 第1回 (8/5)、第2回 (8/6)、第3回 (8/26)、第4回 (8/27)	計画どおりに実施した。 (参加希望者多数のため2回追加)

P I (ステップ2) 実施計画										実施内容		
手法			P I 参加者					回数・箇所・機関等	内容	実施計画との比較		
			●福岡県民 ●福岡市民 ●福岡空港の周辺地域住民及び関連自治体	●空港利用者	●県内地方自治体	●空港利用企業、航空会社、空港・航空関連企業、地元経済団体	●福岡空港に関心を有する国内外の個人及び団体					
P I レポートに関する情報提供・意見収集	パネル展示	P I レポートの内容についての展示を行い、意見収集を行う。	・大学等を検討	○	—	—	—	—	9ヶ所	○福岡大学 (7/10~14) 配布数 45 部 ○北九州市立大学 (7/10~21) 配布数 37 部 ○九州産業大学 (7/18~25) 配布数 48 部 ○福岡市東区役所 (9/4~8) ○福岡市城南区役所 (9/4~8) ○福岡市博多区役所 (9/11~15) ○福岡市早良区役所 (9/11~15) ○福岡市西区役所 (9/19~22) ○福岡市南区役所 (9/25~29)	計画どおりに実施した。 (福岡市各区役所を追加)	
	グループヒアリング	提供情報などについての市民等の意識やニーズについてグループヒアリング手法による意見収集を行う。	—	○	—	—	—	—	4回 (48人)	○中央市民センター (7/14) 2回 ○あいろん講堂 (7/15) 2回	計画どおりに実施した。	
	その他説明会	(実施計画では未計画)							11回(学校等 170人、その他 343人)	○学校等 (7/12、9/12) ○その他 (8/18、8/21、8/22、8/23、9/2、9/7、9/9、9/14、9/22)	当初予定はしていなかったが、要望により実施した。	
寄せられたご意見と考え方の公表・意見収集	「寄せられたご意見とそれに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方」を公開、配布するとともに、これに対する意見収集を行う。	・国、県、市の情報窓口やインフォメーションコーナー、ホームページ、市町村の窓口への設置等	○	○	○	○	○				計画どおりに実施した。	

(2) 当初の目標が達成されたか

P I (ステップ2) 実施計画に定めた目標達成の判断について、下記の点から、当初の目標が達成されたものと考えております。

①情報が市民等に十分に周知されたか

- ・意見記入はがき等による回答状況より、提供した情報について、「わかりやすかった」、「普通」と答えた方が全体の約7割を占めました(図19参照)。
- ・「地域の将来像と福岡空港の役割」及び「将来の航空需要の予測」について、「必要な情報は提供されている」と回答した方がいずれも半数を超えております(図20、図21参照)。
- ・これらのことから、P I (ステップ2) の活動では、情報が市民等に十分に周知されたものと考えております。

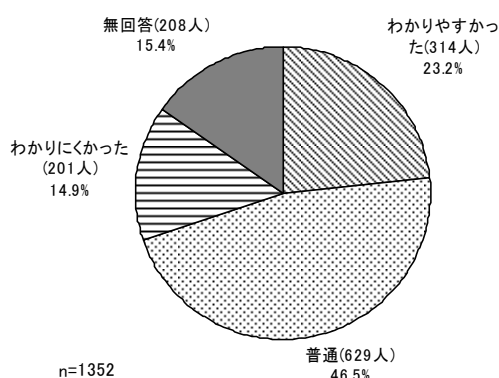


図 19 P I レポートはわかりやすかったか (再掲)

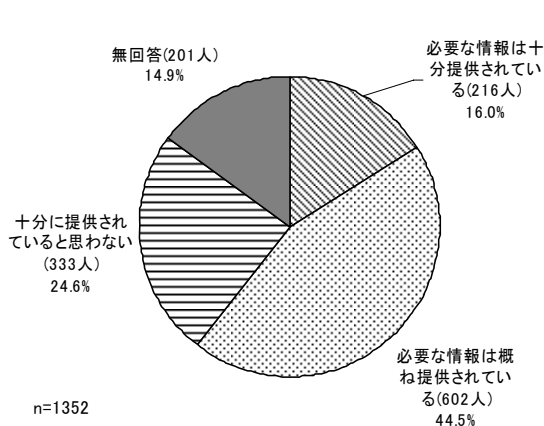


図 20 必要な情報は提供されていたか (地域の将来像と福岡空港の役割について) (再掲)

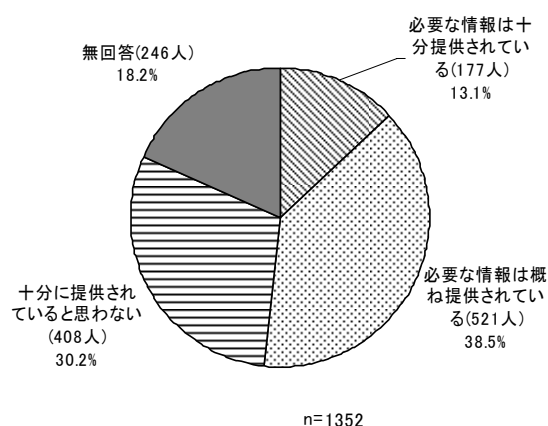


図 21 必要な情報は提供されていたか (将来の航空需要の予測について) (再掲)

②市民等から幅広く意見が収集されているか

- ・今回のP I活動では、シンポジウム、インフォメーションコーナー、説明会、懇談会、オープンハウス、見学会、パネル展示、グループヒアリング等の催しに10,000人を超える方々にご参加いただき、また、意見記入はがき等により、1,352人の方から3,921件のご意見が寄せられました。
- ・意見を寄せられた方は、男性が多いものの、年代や空港利用頻度は、幅広い方からご意見が寄せられています。また、職業については、会社員をはじめとして、自営業や専業主婦

など幅広い方からご意見が寄せられており、居住地についても、福岡県をはじめとして、広い地域からご意見が寄せられています（図 22、図 23、図 24、図 25、表 6 参照）。

- ・寄せられたご意見を集約して、ご意見に対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方を公表し、あわせて、それに対するご意見を募集したところ、20 人の方から 26 件のご意見が寄せられました。
- ・これらのことから、P I（ステップ 2）の活動では、幅広い市民等から意見が寄せられたものと考えております。

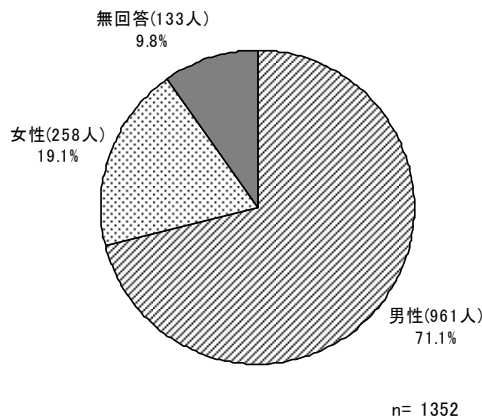


図 2 2 性別 (再掲)

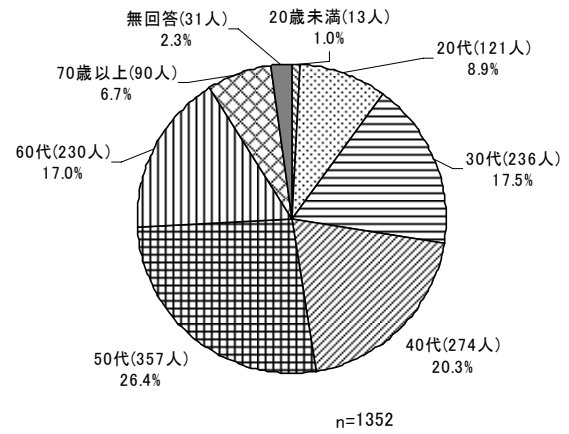


図 2 3 年齢 (再掲)

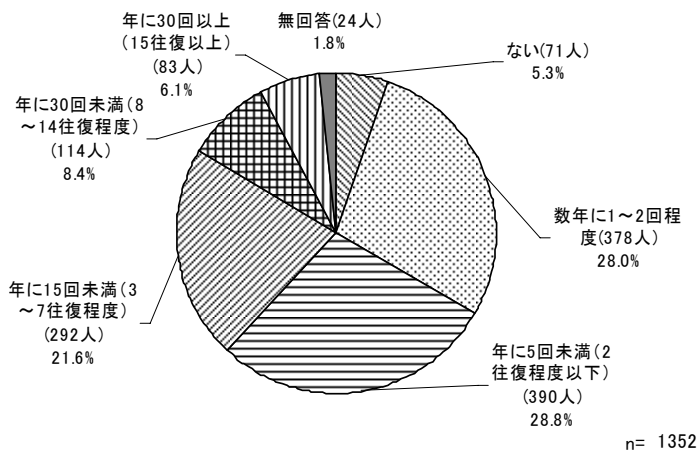


図 2 4 福岡空港からの航空機利用状況 (再掲)

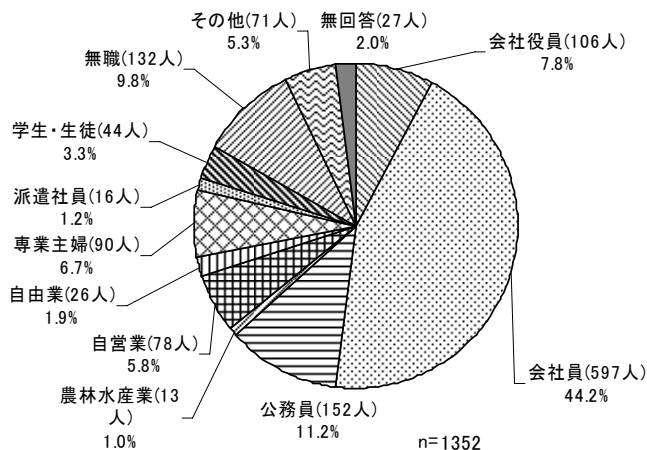


図 2 5 職業 (再掲)

表 6 住所 (再掲)

都道府県	回答数(人)
山形県	3
茨城県	3
栃木県	1
埼玉県	18
千葉県	16
東京都	53
神奈川県	25
富山県	1
山梨県	1
静岡県	1
愛知県	7
大阪府	9
兵庫県	6
奈良県	3
鳥取県	1
島根県	2
山口県	17
福岡県	1,085
佐賀県	34
長崎県	8
熊本県	10
大分県	11
宮崎県	3
鹿児島県	6
沖縄県	5
無回答	23
計	1,352

(3) まとめ

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）の活動は、P I（ステップ2）実施計画に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供を実施し、寄せられたご意見とそれに対する考え方の公表を行うなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと考えております。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広くご意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ2）の目標は達成できたものと考えます。

なお、寄せられたご意見の中には、「近隣空港との連携方策に関する意見」や「現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見」などP I（ステップ3）以降の内容についてのご意見も多く見られました。P I（ステップ3）以降の実施に際しては、「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）に寄せられたご意見とそれに対する考え方」でお示ししたとおり、今回寄せられたご意見等も踏まえ、みなさんが参加しやすく、ご意見を寄せやすいよう、さらに工夫して参りたいと考えます。